

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 実施状況の公表について

(単位：円)

No.	事業名称	担当課	事業概要（実施計画時） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	実績と成果	問題と課題	総事業費					経費内訳	
						国庫補助額	交付対象経費	起債予定額	その他	補助対象外経費		
1	災害救援費	総合防災課	①- ②- ③マスク購入@69.2円×7,000枚+200円（分割購入による単価調整額）=484,600円、次亜塩素酸消毒剤購入@2,640円×14本=36,960円、アルコール消毒缶購入@7,689円×20缶△14,000円（既予算残額）=139,780円、飛沫防止簡易スタンド購入@682円×120台=81,840円、飛沫防止用スタンド用フィルム購入@915.4円×50枚=45,770円、防護服購入@591.8円×160着=94,688円、複数回充用による調整額1,000円 ④市内小中学校、放課後児童クラブ、市役所窓口担当	大規模な集団感染は見受けられなかったため、来庁者及び職員に対して、一定の感染防止効果があったと考える。	全ての来庁者へ発熱等の体調不良を把握できるかが課題である。併せて、来庁者の手指消毒の徹底を周知できるかも課題である。	855,424		855,424				マスク 540,320 次亜塩素酸消毒剤 36,960 アルコール消毒缶 199,914 飛沫防止簡易スタンド 34,100 飛沫防止用スタンド用フィルム 28,510 防護服 15,620
2	災害救援費	総合防災課	①- ②- ③マスク購入@43円×15,500枚=666,500円、アルコール消毒缶購入@7,500円×10缶=75,000円、アルコール消毒ボトル購入@2,200円×17本=37,400円 ④市内小中学校、放課後児童クラブ、市役所窓口担当	大規模な集団感染は見受けられなかったため、来庁者及び職員に対して、一定の感染防止効果があったと考える。	全ての来庁者へ発熱等の体調不良を把握できるかが課題である。併せて、来庁者の手指消毒の徹底を周知できるかも課題である。	1,401,650		769,300		632,350	マスク 655,400 アルコール消毒缶 113,900	
3	災害対策総務費	総合防災課	①②新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として、市民の出入りが多くなる市庁舎、公共施設、避難所への飛沫防止板設置及びマスク、アルコール消毒剤を常備する ③備蓄用マスク購入@26円×17,000枚=442,000円、備蓄用アルコール消毒剤@7,200円×40缶=288,000円、備蓄用アルコール消毒ボトル@1,975円×30本=59,250円、備蓄用アルコールタオル@10,000円×1本=10,000円、飛沫感染防止板（@10,450円×22基）+（@11,000円×22基）+（@11,990円×7基）+（@14,300円×81基）+（@13,079円×2基）+（@14,685円×2基）+（@18,425円×2基）=1,806,508円 ④市役所（庁舎内各課室内）、公共施設、避難所	大規模な集団感染は見受けられなかったため、来庁者及び職員に対して、一定の感染防止効果があったと考える。	全ての来庁者へ発熱等の体調不良を把握できるかが課題である。併せて、来庁者の手指消毒の徹底を周知できるかも課題である。	2,727,232		2,592,832		134,400	マスク 427,620 備蓄用アルコール消毒剤 358,704 飛沫感染防止版 1,806,508	
4	仙北市子育て世帯応援給付事業	子育て推進課	①②新型コロナウイルス感染症の影響により経済的負担増が見込まれる子育て世帯へ給付金を支給 ③児童手当加算金への上乗せ支給@20,000円×2,406人=48,120,000円、児童手当特例給付金対象世帯への支給@20,000円×36人=720,000円、基準日以降（4/1～6/1）の出生世帯への支給@20,000円×18人=360,000円、仙北市に住民登録のある高校2,3年生の子どもがいる世帯への支給@20,000円×400人=8,000,000円、別居監護対象児童分@20,000円×14人=280,000円 事務費（消耗品費40,000円、封筒印刷代9,000円、郵便料@94円×454通+@10円×2,406通+@84円×15通=67,996円） ④市内高校生以下の子育て全世帯	国主導で行った「子育て世帯への臨時特別給付金事業（児童手当への上乗せ1万円）に含ませて実施した事業で、国の事業の対象外となった世帯（特別給付世帯や高校生世帯）を含める子育て世帯全体を対象として「市内在住の18歳未満の児童1人当たり2万円の支給」を行った。 支給実績は、児童手当対象世帯2077人、公務員世帯354人、特別給付28人、4/1～6/1生まれの児童がいる世帯19人、仙北市に住民登録のある高校2,3年生の子どもがいる世帯361人、別居監護対象児童分33人の計2872人へ支給し、99.9%への支給を達成した。（未支給は公務員世帯1件2名のみ） 国の給付金と同時に行う事で、より手厚く支援できただけでなく、対象外の世帯を取り残すことなく経済的に支えることができたことで子育て世帯全体の負担・不安軽減に繋がった。	市が支給している児童手当対象世帯に対しては、支給の申込みをして拒否申請がない場合は支給する事ができたため、手続き不要で速やかに給付する事ができたが、それ以外の対象世帯（公務員世帯や高校生世帯）については対象者の把握が課題となった。国の給付金があったことで子育て世帯の関心が高かったことと、広報やHPでの周知に加え個別通知したことで申請件数が伸びた結果、ほぼ全ての世帯に支給する事ができた。未申請の世帯（1件2名）へは申請を促しても手続きには至らずその理由は不明。	57,537,044		57,537,044			消耗品費（トナー購入費） 22,440 印刷製本費（封筒印刷代） 8,580 通信運搬費（郵便料） 66,024 給付金（@20,000円×2,872人） 57,440,000	
5	水道事業会計補助	市民生活課 上下水道課	①新型コロナウイルス感染症の影響により経済的負担増が見込まれる市民を対象にした水道使用料減免 ②水道事業会計に繰り出し、水道料の減免に係る費用 ③上水道、簡易水道、小規模水道使用料 【4月分】7,224件11,009,790円 【5月分】7,085件10,607,410円 システム改修費1,782,000円 ④全市民	全市民を対象に水道使用料の基本料金2か月分（合計21,617,200円）の減免と、これに伴う料金システムの改修を実施し、その費用を水道事業会計へ繰り出しを行った。 水道使用料の減免を実施したことで新型コロナウイルス感染症の影響による経済的負担の軽減に寄与したと考える。	新型コロナウイルス感染拡大の取まりが見込まれない中、今後の経済状況によっては負担軽減事業の実施検討が必要と思われる。	23,399,200		23,399,200			上水道使用料減免 21,496,970 大場地区専用水道使用料減免 63,800 潟尻地区専用水道使用料減免 32,010 相内潟小規模水道使用料減免 24,420 水道料金システム改修業務委託 1,782,000	

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 実施状況の公表について

(単位：円)

No.	事業名称	担当課	事業概要（実施計画時） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	実績と成果	問題と課題	総事業費					経費内訳		
						国庫補助額	交付対象経費	起債予定額	その他	補助対象外経費			
6	給食費減免	総合給食センター	①新型コロナウイルス感染症の影響により経済的負担増が見込まれる子育て世帯を対象にした給食費減免 ②令和2年4月から7月22日及び夏季休暇短縮期間の給食費 ③給食費 【小学校6校】69,780食×@283円≒19,725,060円 【中学校5校】39,675食×@319円≒12,640,989円 ※牛乳なしもあるため単価は目安 ④小中学校の子どもがいる世帯	年間計画給食数、小学校190食、中学校185食のうち、約1/3の期間の給食費保護者負担分を減免したことで、新型コロナウイルス感染症の影響により困難していた子育て世帯の経済的負担軽減を実現した。	特に問題はなく、滞りなく実施できた。同様の交付金を活用し、負担軽減を望む声もあるが、財源の確保が課題となっている。	32,366,049		32,366,049				小学校（6校：69,780食分） 19,725,060 中学校（5校：39,675食分） 12,640,989	
7	タクシー事業者支援事業	企画政策課	①新型コロナウイルス感染症の影響により例年、春に集中している観光収入が大幅に落ち込んでいる。とりわけ大幅に落ち込んでいるタクシー事業者に対して車両維持費の一部を助成 ②1台あたりの年間維持費200,000円の1/4 ③市内タクシー事業者車両所有台数31台×50,000円=1,550,000円 ※福祉車両を除く ④市内タクシー事業者4社	新型コロナウイルス感染症の影響により観光収入が大幅に落ち込んでいる市内タクシー業者4社、31台の車両に対して車両維持費の一部を助成。廃業や減車を防ぐとともに地域経済全体の支援にもつなげることができた。	特になし。ただ、いまだコロナ禍以前に戻る見込みがなく厳しい経営状態が続いている。	1,550,000		1,550,000				田沢観光（9台） 450,000 花場タクシー（6台） 300,000 平和観光タクシー（8台） 400,000 角館観光タクシー（8台） 400,000	
8	新規事業継続チャレンジ支援事業	商工課	①②新型コロナウイルス感染症対策として新たに取組むものへの助成。施設の改修や消毒などによる衛生対策、売上向上や消費喚起に向けた事業実施及び販路開拓、生産性向上、事業継続のための取り組み、3密回避を図るための取り組みを対象。 ③上限100,000円（助成率1/2以内） 55事業者=4,131,000円 ④市内事業者（中小企業者、小規模事業者、個人事業主）	100事業所、総額10,000千円を見込み、実績として55事業所、4,131千円となった（見込件数に対する割合55%）。市内で感染拡大する前に早期に取り組むことで補助金を機に、市内事業者に感染対策を意識させることができたと思う。	実績値が見込値の8割に届かず、周知方法の見直しを行う必要がある、また、市民がわかりやすい文書作成が必要であると感じた。	4,419,000		4,131,000		288,000		補助金（55件） 4,131,000 上限額：100,000円 助成率：1/2以内	
9	新型コロナウイルス感染症対策事業継続支援金給付事業	商工課	①②新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者等（秋田県新型コロナウイルス感染症拡大防止協力の対象事業者を除く。）に対する支援金給付 ③1事業者200,000円×426事業者=85,200,000円 旅館等・飲食店等営業者への加算 1事業者100,000円×64事業者=6,400,000円 ④市内事業者（中小企業者、個人事業主、旅館等・飲食店等営業者） 【その他要件】 ・「秋田県新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金」の対象外の事業者 ・令和2年3月から5月の期間中いずれかの月において、前年度の同月比20%以上の売上高減少 ・令和2年3月1日から5月31日の間の営業日に新型コロナウイルス感染症拡大防止を目的に10日間以上の自主休業、ただし、業態により休業が困難な場合は除く	855事業所、総額193,000千円を見込み、実績として426事業所、91,600千円となった（見込件数に対する割合49%）。県の協力金に該当しなかった事業者に対して、協力金が対象となった事業者との公平性を保つことができたと思う。	実績値が見込値の半数に届かなかった、要因としては申請期間が1か月間と短期間であり、半月延長したものの申請件数に伸び悩んだ。	91,600,000		91,600,000				補助金（@200,000円×426件） 85,200,000 補助金（@100,000円×64件） 6,400,000 ※旅館等・飲食店等営業者には100,000円の加算	
10	プレミアム商品券発行事業	商工課	①新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ地域経済の需要回復を図るため、プレミアム商品券を発行 ②発行総額390,000千円のうちプレミアム分90,000千円（30%） 事務費 ③基本額300,000千円×30%=90,000千円 事務費：商工会への委託費5,569,000円（人件費、印刷費、広告費等） ④全市民	商品券はすべて完売。総換金額は388,840千円（換金率99.7%）、未換金分が1,160千円となった。未換金分に関しては返還。本事業を通じて、消費者の買い込みと消費需要喚起という観点から一定の目的は達成できたと思われる。また、取扱店については400店とH27年度実施より1店減少した。	販売方法を先着順としたが、完売により購入できない市民が多数いたため、公平性に欠けてしまった。販売方法の見直しが必要と思う。	95,301,000		95,301,000					補助金（プレミアム分） 89,732,000 補助金（事務費分） 5,569,000
12	仙北市の魅力映像発信事業	観光課	①②秋田県民向けの誘客PRとして、仙北市の観光情報とともに市内観光施設におけるコロナ対策を紹介する映像を作成し、県民のフォロワー数が多いローカルタレントによるSNS発信と、TVメディアからの拡散を図る ③委託費（コロナ対策映像製作業務 @620,000円×1.1=682,000円、タレント出演費 @50,000円/1日×5回×1.1=275,000円、SNSアカウント使用料 @200,000円×1.1=220,000円、動画制作費 @70,000円/1日×5回×1.1=385,000円、企画費 @200,000円×1.1=220,000円 ④秋田県民	令和2年11月から令和3年3月までの毎月4木曜日（22時54分から23時・全5回）に市内の飲食店やお土産店の計17店舗の紹介映像を放映。放送終了後は、秋田テレビ公式YouTubeにおいて公開。番組ナビゲーターは県内でも知名度の高い相場詩織さんを起用し、相場さんのSNSをはじめ、番組宣伝CMや秋田テレビ公式Twitterにより番組PRを行った。経済効果等の具体的な数字はないが、秋田テレビ公式Twitterのリツイート・いいね数から一定の評価があったと推測される。また、同時期に行った仙北市プレミアム観光券事業のほか田沢湖・角館観光協会で行ったお土産券の発行、感染症防止対策実施宣言証の配布事業などの後押しもあった。	一時の放映で終わりにとどまっておらず、事業終了後の映像の活用が課題。全国的に知名度も高くなってきている相場詩織さんがナビゲーターであり、秋田テレビ公式YouTubeに映像が公開されていること、なかなか紹介されない店舗や市内の町並みを取り上げられていることから、県外誘客や観光PRへの活用を検討したい。	1,782,000		1,782,000					コロナ対策映像製作業務委託 682,000 テレビ番組とSNSを活用した仙北市の魅力映像発信事業 1,100,000

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 実施状況の公表について

(単位：円)

No.	事業名称	担当課	事業概要（実施計画時） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	実績と成果	問題と課題	総事業費					経費内訳	
						国庫補助額	交付対象経費	起債予定額	その他	補助対象外経費		
13	仙北市プレミアム宿泊支援事業	観光課	①②秋田県が発行するプレミアム付宿泊券を利用し、市内施設に宿泊した者への割引 ③委託費 146,505,000円 (割引額 46,400人×3,000円=139,200,000円、プロモーション経費 685,000円、振込手数料 86,000円、その他運営経費 6,534,000円) ④秋田県民	令和2年7月4日チェックインから9月30日のチェックアウトの約3か月間で実施した事業であった。当初は秋田県プレミアム宿泊券40,000枚に上乗せ対応する想定であったが、好評につき40,000枚を超えた分についても対応することとした。また、秋田県内の流動が増加したことに伴い、仙北市内への宿泊者の増加に寄与した。  ●上乗割引充当経費：46,276枚 ●落選した市民限定分経費：46通	申し込みの方法として、往復はがきを使用したため、申し込みから購入に至るまでのお客様の負担や、購入者情報の集計等に係る受託業者の負担等が多く感じた。また、加盟している宿泊施設は多くあったものの、利用率としては市内の有名所に宿泊されるお客様が多く目立ち、加盟はしているものの本事業を利用して宿泊されるお客様が少ない宿もあった。	146,268,659		146,268,659				プレミアム宿泊支援業務委託 宿泊券 138,966,000 振込手数料 85,613 プロモーション経費（広告） 683,046 運営管理費 6,534,000
15	仙北市物産オンライン販売促進事業	観光課	①②新型コロナウイルス感染症の影響により、売り上げが著しく減少しているお土産商品や伝統工芸品等をオンラインで販売する環境を整備し、コロナ禍における市内事業者の収益につなげる ③委託費 2,508,000円 (観光協会 E C サイト改修費 440,000円、登録作業人件費 1,100,000円、誘導プロモーション費 550,000円、諸経費 418,000円) ④市外観光客	(一社) 田沢湖・角館観光協会への委託事業。新型コロナウイルス感染症の影響により観光客が激減したことや、対面で販売機会が少なくなっているため、受託業者のホームページ内にオンラインショッピングサイトを設置した。また、令和3年3月19日までは以下のとおりキャンペーンを実施した。  ●送料無料キャンペーン 期間：令和2年8月1日～10月31日 注文件数：572件 ●ポイント10倍・2,000円以上のお買い上げで送料無料キャンペーン 期間：令和2年12月12日～令和3年1月11日 注文件数：84件 ●ポイント10倍・2,000円以上のお買い上げで送料無料キャンペーン 期間：令和3年2月26日～3月19日 注文件数：68件  また、コロナ禍における社会の変化委に対応し。お客様ニーズにあった対応ができた。今後も継続してサイトを運営する予定。	受託業者のホームページ内にオンラインショッピングサイトを整備したため、観光協会会員であることが一つの条件であった。また、募集の段階から登録できる商品は1事業者3商品までと設定したため、全会員より商品を登録してもらうことはできなかった。 契約期間中はキャンペーン等を実施したため、注文件数は伸びていたものの、キャンペーンを実施していない期間の利用率・購入率は少なかった。また、閑散期の購入率も低く、仙北市に興味を示す方が多くいる繁忙期（4、5、9、10月）の購入率が良いと感じた。 なお、委託事業終了後もオンラインショッピングサイトへ継続して実施している。	2,352,922		2,352,922			物産オンライン販売促進業務委託 HPデザイン改修費 330,000 登録作業委託費 745,250 プロモーション経費 886,072 運営事務費 391,600	
20	温泉事業会計補助	上下水道課 観光課	①新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に収入が落ち込んでいる温泉事業者に対する温泉供給料減免 ②温泉事業会計に繰り出し、温泉供給料の減免に係る費用 ③温泉供給料 111口×@18,700円×2ヶ月＝4,151,400円 ④市からの供給を受けている温泉事業者	新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に収入が落ち込んでいる温泉事業者に対し温泉供給料2ヶ月分（合計4,151,400円）の減免を実施し、その費用を温泉事業会計へ繰り出しを行った。温泉供給料の減免を実施したことで新型コロナウイルス感染症の影響による収入減少に対し経営の負担軽減に寄与したと考える。	新型コロナウイルス感染拡大の収まりが見込めない中、今後の経済状況によっては負担軽減事業の実施検討が必要と思われる。	4,151,400		4,151,400			温泉供給料減免 4,151,400	
21	新しい旅のカタチ創造事業	観光課	①With/After コロナを見据え、新しい生活様式にあわせた「新しい旅のスタイル」を、新たなコミュニケーションツールの開発・運用に対して助成する ②全国的に知名度の高い「乳頭温泉郷」を核とした市内での「温泉ステイ」をモデル的に支援する実証事業として、旅行者と仙北市のローカルコミュニティをつなぐプラットフォームをオンライン上に整備するための経費 ③補助金 5,464,800円（既存サイト更新費 @20,000円×1.1＝22,000円、診断プログラム構築費 @600,000円×1.1＝660,000円、グループページ構築費 @420,000円×1.1＝462,000円、管理ページ構築費 @300,000円×1.1＝330,000円、体験イメージ動画コンテンツ制作費 @1,050,000円×1.1＝1,155,000円、サイト構築デザイン費 @150,000円×1.1＝165,000円、映像コンテンツ制作費 @1,120,000円×1.1＝1,232,000円、動画編集費 @420,000円×1.1＝462,000円、スチール編集費 @60,000円×1.1＝66,000円、事務費 (20%) @828,000円×1.1＝910,800円) ④市内観光事業者	「AKITaBi 12seasons」と名づけたウェブサイト構築。ページは日本語と英語の2カ国語展開。"新しい旅のカタチ"をテーマに診断アプリを実装し、訪問者が3つの質問に答えると4コース12コンテンツのそれぞれの旅が提案される仕組みとなっている。コロナ禍で旅のきっかけがない人へのための動機づけや目的を可視化することが可能になった。また、仙北市民や旅行者、ライターなどの執筆にコメント欄を実装したコミュニティページも設置。あわせて、ギャラリー（ライブラリー）ページを設置し、画像に強いInstagramを使って、画像によるプロモーションを展開。動画によるプロモーションとして、乳頭温泉郷を舞台とした4つの動画を制作した。乳頭温泉郷から得られる体験や経験を紹介することで、よりリアルに魅力を伝えることができる。ページ完成後のレビュー数を見ると日本からのレビューが多く、レビュー数も伸びている。	コミュニティページについては、ライターなどによる執筆とそれに対する旅行者などのやり取りが展開されていくことが想定されていたが、実際はまだまだ運用なし。その他、情報が更新されていないページがいくつか見受けられる。乳頭温泉組合では、同サイトを核に誘客を展開していくことになっているが、現状どれほど活用しているのか、どれほど閲覧されているのか、聞き取り調査などを行いながら積極的な活用を促すことが課題。	5,465,000		5,465,000			補助金（乳頭温泉組合） 5,465,000	

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 実施状況の公表について

(単位：円)

No.	事業名称	担当課	事業概要（実施計画時） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	実績と成果	問題と課題	総事業費					経費内訳	
						国庫補助額	交付対象経費	起債予定額	その他	補助対象外経費		
22	A I U インターン推進事業	交流デザイン課	①②国際教養大学（A I U）の学生インターンによる地域との交流を通じて、地域資源活用の提案を受けるほか、コロナ対策を講じた新たな誘客活動の提案にも取り組む ③委託費 629,200円 （滞在費 @8,000円×1人×60日=480,000円、活動費 40,000円、事務費（10%） 52,000円、消費税57,200円） ④仙北市農山村体験推進協議会会員	○活動期間 1月5日～3月5日 ○滞在先 市内農家民宿、ペンション等8軒 ○活動内容 市内観光コンテンツ写真撮影、インバウンド誘客等オンライン会議への参加、各課事業補助、活動報告会の実施した。 →コロナ禍において、インフラや観光コンテンツなどの市内外の需要が大きく変化しており、コロナ対策を講じた新たな誘客活動を行う必要がある。そこで若い他の知見での市のもつ魅力を再発見し最大限に活用するため、AIUの学生インターンを1名受入し、交流デザイン課と地方創生・総合戦略室の業務に携わりながら、地域資源活用等の提案をしていただいた。 本事業以降、毎年1名のインターンの受け入れを実現している。またAIU卒の地域おこし協力隊もR4に着任している。	ウィズコロナにおいてストレスのない暮らしを実現できる等を中心に提案頂きました。また、感染拡大により減少した観光客を呼び戻すかについても提案頂きました。 （【インターン提案内容】 ○新幹線（角館～田沢湖間）の日常生活での利活用。 ○民間業者と協力した移送スーパーの展開。 ○市HPデザインの刷新。等 【報告会内提案内容】 ○テーマごとに市一丸となつての魅力PR。 ○「修職旅行」や同窓会プラン等、大人向けのターゲット展開。 ○市内交通機関のICカード導入等のデジタル化推進。等 上記提案について担当部署等の検討を行うなど実現に向けた態勢づくりが必要となる。）	626,780		626,780				A I U インターン推進事業にかかる委託 626,780
23	教育旅行の農泊推進地域元気づくり事業	交流デザイン課	①②新型コロナウイルス感染症の影響により修学旅行等が延期または保留となっている秋田県内及び岩手県・宮城県の小中学校に対して教育旅行の誘致活動を行う ③委託費 814,184円 （資料送付代 @400円×1,043件=417,200円、送付用ファイル購入費 @98円×1,400部=137,200円、封筒代 @8,589円×3箱（1,000枚入り）=25,767円、その他事務用品 10,000円、県内誘致活動用レンタカー代 @10,000円×3台×3回=90,000円、レンタカーガソリン代 @5,000円×3台×3回=45,000円、高速道路使用料 15,000円、諸経費 740,167円×10%=74,017円） ④仙北市農山村体験推進協議会会員	○秋田県内教育旅行誘致キャラバンの実施 7月28日～30日実施 東北 52小学校、30中学校 訪問 中央 76小学校、50中学校 訪問 県南 63小学校、32中学校 教委通じて資料配布→コロナ禍で県外から県内に変更せざるを得ない学校に仙北市PRを直接行ったことで、教育旅行受入数増加に貢献した。 ○教育旅行情報資料送付 8月6日～7日発送 宮城県 383小学校、206中学校 発送 岩手県 307小学校、154中学校 発送 秋田県内特別支援学校12校 発送 →コロナ禍で県外との往来が制限されたため秋田県内への仙北市受入状況周知や往来回復後の検討材料としてのPRを行なった。本事業の実施により今までほとんど前例のなかった秋田県内の学校の受入が開始されコロナ禍であってもR2は18521人314校（うち秋田県内12049人229校）の受入れを、またR3は25064人429校（うち秋田県18732人335校）の受け入れを実施した。	特になし （秋田県内学校はコロナ禍で県外との往来に制限されている際は、仙北市を含めた県内実施で訪問していただけるが、往来回復後は県外での実施が予想される。また、これまで仙北市を訪れていた宮城県、岩手県の学校が往来回復後に仙北市をまた訪れてくれるのが不確実なため、往来回復後の同行を見据えた誘致活動についての検討が必要となる。）	805,796		805,796			教育旅行有地事業にかかる委託 秋田県内教育旅行キャラバン 153,394 岩手県、宮城県への誘致事業 652,402	
24	3密を避けた新たなスノーツーリズム推進事業	交流デザイン課	①②スノーシューハイキングへの取組を推進するため、スノースポーツ活動の市内全域への展開及び新型コロナウイルス感染症対策を踏まえたガイドの育成を行う。 ③委託費 1,106,666円 （ガイド講習謝金 @11,300円×3時間×2人×3回=203,400円、コース選定謝金 @14,000円×2ヶ所×2人×2回=112,000円、スノーシュー賃借料 @3,500円×12人×3回=126,000円、インカム購入費 @33,800円×14セット=473,200円、事務費（10%） 91,460円、消費税 100,606円） ④仙北市農山村体験推進協議会会員	○スノーシューガイド講習に向けた下見 ・クニマス未来館裏もや森 1月15日 ・角館桜並木及び河川敷公園 2月3日 ・古城山公園 2月8日 ・かたくり館・赤倉栗園 2月8日 ・上桧木内の紙風船館周り 2月8日 ○スノーシューガイド講習の実施 1月27日 クニマス未来館裏もや森 14名参加 2月3日 角館桜並木及び河川敷公園 19名参加 2月25日 クニマス未来館裏もや森 12名参加 3月9日 上桧木内の紙風船館周り 11名参加 →コロナ禍における3密を避けた新たな体験コンテンツ造成のために検証及び講習会を実施した。翌年より実際に商品化され旅行者へ提供を開始している。また観光地に集中していた訪問先の分散にも取り組むなど単なる商品造成にとどまらず新しい地域素材のPRも担うなど波及効果が大きい	特になし （ガイド講習に参加した方々を中心に、エリアの歴史や文化、言い伝えなどをまとめたガイドマニュアルを作成し、有料のコンテンツとして提供することを計画している。 また、催行に当たって、開催時期や実際に案内するガイドの決定など、まだ未確定な部分があるため、地盤を固めることが必要である。 そのほか、国内外OTAなどでの商品登録、市内ホテルなどと連携したプラン造成、各観光施設にパンフレットやチラシの掲示、関係者の口コミなど、多くのお客様の目につくための仕掛けづくりも必要である。）	1,034,810		1,034,810			3密を避けた新たなスノーツーリズム事業にかかる委託 1,034,810	

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 実施状況の公表について

(単位：円)

No.	事業名称	担当課	事業概要（実施計画時） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	実績と成果	問題と課題	総事業費					経費内訳		
						国庫補助額	交付対象経費	起債予定額	その他	補助対象外経費			
26	公共施設利用料減免	企画政策課  伝承館  イベント交流館  平福記念美術館	①新型コロナウイルス感染症の影響により観光客数が大幅に落ち込んでいるため、市で管理している公共施設の使用料を無料とすることで誘客を促進し、市内観光施設への波及効果を図る ②令和2年4月から令和3年3月までの公共施設使用料 ③施設使用料（実績額－既取入額） 田沢湖クニマス未来館 3,351,900円－17,450円＝3,334,450円 思い出の湯分校 1,676,000円－11,000円＝1,665,000円 榎細工伝承館 11,542,950円－15,150円＝11,527,800円 イベント交流館 749,350円－2,800円＝746,550円 平福記念美術館 2,703,100円－7,000円＝2,696,100円 ④市内観光事業者	【田沢湖クニマス未来館】 開館日数を前年度と比較した結果86%だったが、開館日1日あたり入館者数は52名と前年並みを確保することができた。 【思い出の湯分校】 入館者は6,351人で前年比54%、開館日1日あたり入館者数は22名で前年比59%だった。交付金により一定の減収分をカバーできた。 【伝承館】 令和2年6月より使用料を無料とした事が徐々に認知され、例年10月は3,000人台、11月は2,000人台である来館者がそれぞれ1万人以上となり令和3年3月までの来館者は約4万人を超え市内観光施設への誘客促進が図られた。 【イベント交流館】 令和2年4月から令和3年3月末まで入館料が無料となったが、コロナ禍であったため入館者数は前年度の6割にも満たなかった。 令和2年度は4つの企画展を開催した。（うち1つは令和元年度に開催したもの） 【「ファール昆虫記を訳した椎名其二」展】 R2.4.1～R2.4.3 入館者数 2人 【ファール昆虫記を訳した椎名其二展 其二 其二 -これこそ私の願ひだった】 R2.4.11～R2.7.15 入館者数 247人 【角館町創400年記念 三館合同企画展 「佐竹北家の文化」展 R2.7.25～R2.9.13 入館者数 824人 【図書館100年のたからもの展】 R2.9.26～R3.3.31 入館者数 1,919人 【平福記念美術館】 4月から令和3年3月末まで使用料（入館料）が無料となったことで、来館者数が伸びた。令和2年度は6つの企画展を開催。 【没後40年 渡辺浩三展】6月1日～7月17日 入館者数 522人 【角館町創400年記念 三館合同企画展 江戸期の絵画と角館四糸派展/平福穂庵とその弟子達展】7月25日～9月13日 入館者数 1,970人 【山田美知男展 纏繰（る）】 9月20日～11月15日 入館者数 7,334人 【第43回児童生徒県南美術展】 11月28日～R3年1月24日 入館者数 3,011人 【第10回仙北市総合美術展】 2月2日～2月14日 入館者数 722人 【館蔵品・寄託品展】 2月21日～3月31日 入館者数 538人 合計 14,097人	【田沢湖クニマス未来館・思い出の湯分校】 コロナ禍において入館料を減免しても、来館者数の増加につながらずと推察している。特に、入館料がもともと無料である市民の入館者数がコロナの影響により半減している。 【伝承館】 入館料免除により伝承館入館者は飛躍的に増加したが伝承館の場合、入館者の増加が必ずしも館内売店の売上増加には結びつかなかった。入館料支払・土産品購入など消費に対し意欲の低いお客様が多かったのではないかと、商品構成・販売イベントなど販売側の努力が不足していた。 【イベント交流館】 令和2年度には、日本近代文学館より展示資料を借用し「愛の手紙展」を開催予定だった。しかし、新型コロナウイルスが感染拡大し、県外の往来が制限されるなどしたため開催を断念した。中央から万人受けする貴重な資料を借りて展示すると、入館者数は増えるが、予算が膨らむため実現は困難である。 予算削減のため、自館の収蔵品のみを展示すると、新鮮味がなく入館者数の増は見込めない。 郷土の偉人とその貴重な資料を公開することも大切だが、予算をなるべくかけずに魅力的な企画展を開催すること、そして「新潮社記念文学館」の存在を広く周知していくことが今後の課題である。	19,969,900		19,969,900					思い出の湯分校 1,665,000 田沢湖クニマス未来館 3,334,450 伝承館 11,527,800 イベント交流館 746,550 平福記念美術館 2,696,100
27	図書館安心・安全快適環境づくり事業	図書館	①田沢湖図書館における新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として書籍用消毒機を購入する ②書籍用消毒機及び関連消耗品購入費 ③書籍用消毒機 @970,000円×1.1＝1,067,000円、消臭抗菌剤・紫外線殺菌ランプ @42,000円×1.1＝46,200円 ④田沢湖図書館来館者	図書除菌（消毒）機の導入により、感染症流行下でも利用者が安心して図書館を利用できた。幼保施設や学校への団体貸出時にも、図書館側で図書除菌（消毒）機を利用し、感染症予防対策を行うことができた。 R3貸出冊数：17,982冊 R3貸出人数：4,027人	感染症予防対策として認識され、図書館利用者にも利用されている。	1,113,200		1,113,200			図書消毒機購入費 1,067,000 消耗品費（紫外線殺菌ランプ等） 46,200		

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 実施状況の公表について

(単位：円)

No.	事業名称	担当課	事業概要（実施計画時） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	実績と成果	問題と課題	総事業費	国庫補助額	交付対象経費	起債予定額	その他	補助対象外経費	経費内訳
28	秋田内陸線総合緊急支援事業費負担金	企画政策課	①②新型コロナウイルス感染症拡大の影響により利用者が激減している秋田内陸線について、秋田内陸地域公共交通連携協議会が実施する利用活性化事業に対して負担金を交付する ③田んぼアート迫力体感キャンペーン（フリー切符プレゼント）、オンラインショップHP改修、公式WEBサイト多言語化、フリーきっぷプレゼントキャンペーン（全国版）の事業費15,800千円×40%（仙北市負担率）=6,320千円 ④秋田内陸地域公共交通連携協議会	体感キャンペーンでは延べ2,398人が秋田内陸線に乗り、キャンペーン前の定期外乗車率32.7%を48.3%まで回復させた。オンラインショップ販売増加支援では12月6日までの支援期間で売上が221万円となり、前年度分の148万円を上回っている。公式WEBサイト多言語化支援では毎月1,500人～2,000人が秋田内陸線の多言語化ページを閲覧している。フリーきっぷプレゼントキャンペーンでは、延べ465人が内陸線に乗り、沿線宿泊施設に宿泊した。 国の「GOTOトラベル」等の支援支援事業との相乗効果も相当程度あり、地域経済対策の回復に寄与した。	令和2年度の秋田内陸線定期外の乗車率は、前年度と比較し50%程度となり、新型コロナウイルス感染症の収束には尚時間を要する。 オンラインショップの販売は事業補助終了後、伸び悩み、購買意欲を刺激する商品の増加とホームページの工夫が課題。 令和2年度のインバウンドはほぼ皆無な状態であり、多言語化したホームページを最大限活用した訪日外国人の誘客が課題。 乗客数を感染症拡大前の状態に回復させるには、尚一層の努力を要する。	6,320,000		6,320,000				負担金（事業費の40%以内） 6,320,000 ①フリーきっぷ（沿線） ②オンラインショップ ③WEBサイト多言語化 ④フリーきっぷ（東北）
29	仙北市誕生祝い特別給付金事業	子育て推進課	①②定額給付金の基準日（令和2年4月28日）以降に子どもが生まれ、経済的負担増が見込まれる世帯へ給付金を支給 ③基準日以降出生見込数75人×@100,000円=7,500,000円 ④市内で基準日以降に生まれた子どものいる全世帯	国の特別定額給付金の基準日を過ぎて生まれた子ども75人を対象に1人あたり10万円の現金を支給することにより、対象外の世帯を取り残すことなく経済的に支えることができたことで、子育て世帯全体の経済的負担・不安軽減に繋がった。	対象者全員に支給出来、特に問題、課題となることはなかった。	7,500,000		7,500,000				給付金（@100,000円×75人） 7,500,000
30	いこいの公園づくり推進事業	建設課・農林整備課	①3密防止として市民ニーズの高まりが見込まれる市内公園の環境整備を実施する ②生保内公園及びかたまえ山森林公園のベンチ、テーブルを整備する ③生保内公園ベンチ設置（2基）@275,000円×1.1=302,500円、かたまえ山森林公園（テーブル・ベンチ1セット、ベンチ2基 @2,750,000円×1.1=3,025,000円、かたまえ山森林公園整備実施設計 450,000円×1.1=495,000円） ④公園利用者	実施後の来場者数推移 R2 12,132人 R3 18,347人 R4 21,014人 整備したことにより新型コロナウイルス感染症発生前の来場者数まで回復し、また、滞在時間が延びた。	かたまえ山森林公園の施設規模からすれば、ベンチ、テーブルの設置基数については妥当である。	3,822,500		3,822,500				生保内公園ベンチ設置工事費 302,500 かたまえ山森林公園木製ベンチ等改修調査設計委託 495,000 かたまえ山森林公園木製ベンチ等改修工事費 3,025,000
31	田沢湖遊泳場安全・安心確保対策事業	観光課	①今後、利用者の増が見込まれる田沢湖遊泳場における3密防止対策を実施する ②遊泳場監視業務（監視員増員）及びシャワー施設増設 ③遊泳場監視業務委託料（監視員1人増員）151,000円、シャワー施設増設（仕切り、3基増設）に係る補助 577,000円 ④遊泳場利用者	例年の監視体制に加え監視員を1人増員し、遊泳場開設期間における3密を避けるよう呼びかけを行うことで、遊泳者の安全を確保した。 また、シャワー施設内のシャワーの増設や、間仕切りを設置することにより利用者間の距離を保ち、シャワーを3基を増やし、利用者の回転を速めることで待つ方による混雑を解消した。	監視体制の強化を継続的に維持するため、監視業務にあつている事業者と連携を密にする必要がある。	727,125		727,125				田沢湖遊泳場監視業務委託 136,000 監視業務賃金（増員分） 15,000 監視員傷害保険料（1人分） 576,125 コロナウイルス対策補助金（シャワー増設）
32	ふるさとのおぎなな市内出身学生応援事業	教育総務課	①②新型コロナウイルス感染症の拡大により往来が制限され帰省が困難となっている仙北市出身で実家を離れ、大学院・大学・短期大学・専門学校に在学し、保護者の住民登録が仙北市にある学生に、市内農畜産物や特産品を届ける ③委託費（物品代・宅配料・事務費）304人分=8,896,256円、申請書印刷用紙代 27,156円 ④市内に保護者の住民登録のある市内出身学生	新型コロナウイルス感染症の拡大により、帰省が困難となっている本市出身の市外在住学生へ、地元産の肉、野菜、調味料等の物品を届けた。学生本人や家族からお礼の言葉をいただくこともあり、好評だった。 申請者：304名	学生の住所へ送付したが、学生が長期不在等で受け取れず、返送された物品を実家の家族が市役所へ受け取りに来るケースが複数あった。その場合、運送に日数がかかることから、肉や野菜等の生ものは消費期限の短さから管理が難しい。また、学生は調理の習慣がない場合もあることから、仙北市特産のレトルト食品や調味料、缶詰の方がニーズに合っていた可能性もある。	12,160,408		12,160,408				消耗品費（申請書用紙） 27,156 ふるさとのおぎなな市内出身学生応援業務委託 8,896,256 物品購入費（品代） 1,732,196 宅配料（箱代含む） 1,504,800 事務費
33	秋田内陸線感染症拡大防止対策事業費補助金	企画政策課	①②新型コロナウイルス感染症拡大の影響により利用者が激減している秋田内陸線について、乗車数回復のための施策と併せ必須となる乗客の安全を確保するための措置に係る経費について支援する ③【車両・駅舎・待合室】噴霧器の導入、喚起装置の設置、熱感知カメラの設置、待合室の換気空調設備の設置、待合室の空気清浄機の設置、駅舎設備改良工事、駅舎構内改札口改修工事、駅舎の密集防止、抗ウイルス対策改修工事にかかる経費（13,498,300円-1,000,000円）×10%（仙北市負担率）=1,249,830円 ④秋田内陸線貫鉄道	新型コロナウイルスの感染拡大を防止するために、秋田内陸線貫鉄道(株)が実施する感染予防対策に対して国・秋田県・北秋田市と協調して補助金を交付した。 11車両の手すり、つり革等の抗菌・抗ウイルス・換気対策のほか、6駅（鷹巣、合川、米内沢、阿仁合、比立内、角館）を対象に熱感知カメラの設置（3駅）や抗菌ドア、改札口改良などの感染拡大防止対策により、乗客の安全・安心につながった。	新型コロナウイルス感染症の収束が未だ見えない。 整備した事業をベースにした予防対策の継続が課題である。	1,249,830		1,249,830				補助金（事業費の10%） 1,249,830 ①車内における抗菌・抗ウイルス・換気対策 4,425,500 ②駅の衛生対策 9,072,800 ①、②の事業費から国補助1,000,000円を減額
34	保育園児免疫力アップ遊具整備事業	子育て推進課	①②外出自粛による子どもたちのストレスの緩和、運動不足を解消し心と体の免疫力（抵抗力）をつけさせることを目的として、市内保育園における屋内外の遊具整備を図る ③市営保育園（4ヶ所）遊具整備 3,342,969円、民営化施設（4ヶ所）遊具整備 3,720,563円 ④はなさき仙北（民営化施設分）	保育施設8カ所への遊具整備により、外出自粛による子どもたちのストレスの緩和、運動不足を解消し心と体の免疫力（抵抗力）が向上したと考えられ、令和2年2月まで新型コロナウイルス感染症拡大による休園措置をすることなく園運営を継続出来たことや、頻度をどれだけ抑制できたかなどし事業実績を数値化出来ない。 遊具整備後、例年流行していたインフルエンザの感染も見られないことから、健康な体づくりに寄与しているものと考えられる。	施設によって整備した遊具が異なることから、感染症拡大防止効果など一律の事業効果を判定しづらい。 感染拡大による休園措置をどれぐらいの期間予防出来たかや、頻度をどれだけ抑制できたかなどし事業実績を数値化出来ない。	7,054,265		7,054,265				備品購入（角館こども園） 2,242,603 備品購入（角館西保育園） 466,488 備品購入（中川保育園） 267,850 備品購入（白岩小百合保育園） 357,214 補助金（はなさき仙北） だしのご園 1,235,410 神代こども園 1,328,000 にこにここども園 696,705 ひのきないこども園 459,995

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 実施状況の公表について

(単位：円)

No.	事業名称	担当課	事業概要（実施計画時） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	実績と成果	問題と課題	総事業費					経費内訳	
						国庫補助額	交付対象経費	起債予定額	その他	補助対象外経費		
35	台湾交流継続支援事業	交流デザイン課	①②新型コロナウイルス感染症の影響を受け、これまで継続してきた玉川温泉と台湾北投温泉との姉妹温泉協定による直接的な交流が困難な状況となっているため、市内施設に台湾コーナーを設置し、台湾北投温泉との繋がりを深めるとともに交流の歴史を改めて市民に伝達して機運の醸成を図り、新型コロナウイルス感染症により利用者が減少した市内観光施設の利用促進につなげる ③委託料：台湾コーナー設置経費（パネル・POP制作、什器設置等）165,000円、販売商品取り寄せ経費 @77,000円×6ヶ月=462,000円、店舗スペース賃借料 @55,000円×6ヶ月=330,000円 ④アロマ田沢湖ハートハーブ（コーナー設置箇所）	○台湾コーナーの設置期間及び場所 10月8日～11月15日 田沢湖ハーブガーデンハートハーブ（ショップ「フィールズ」内） 11月17日～12月27日 食彩町家館1階 1月9日～3月31日 田沢湖ハーブガーデンハートハーブ（レストラン「サラート」内） ※1月9日～3月21日は土日祝日のみ営業 ○台湾コーナー設置内容 ・仙北市と台湾の交流の経緯を示すパネル設置。 （田沢湖と澄清湖との姉妹湖提携、玉川温泉と北投温泉との北投石が結ぶ温泉提携締結） ・澄清湖と北投温泉の紹介文や写真の掲示。 ・台湾学生のポスター展示。 ・台湾雑貨の販売（計257品81,880円売上）  一翌年も感染症拡大の影響で海外との往来はかなわなかったが市内にある国際交流団体が台湾との交流記念碑を市内に設置したり台湾祭りを企画実施、さらにはオンライン交流など直接訪問する以外の交流が実施されるきっかけとなった事業である。さらにこの動きは仙北市全域で継続して実施されている。	特になし	957,000		957,000				台湾コーナー設置業務委託 957,000
36	堆肥センター使用料、堆肥散布作業手数料、堆肥売払収入の減免	農業振興課	①新型コロナウイルス感染症対策の影響により、堆肥を使用する耕種農家（水稲・園芸）の販売の見通しに不安があることや堆肥利用が減ることで畜産農家にも影響がでるため、事業継続支援として堆肥センター利用料、堆肥散布手数料、堆肥販売代金を無償とする。 ②令和2年4月から令和3年3月までの堆肥センター使用料、堆肥散布手数料、堆肥販売収入 ③堆肥センター使用料（2ト車 @800円×1.1×730台=642,400円）、堆肥散布手数料（@1,000円×26ha×1.1=28,600円）、堆肥販売収入（40t/袋 @380円×4,000袋=1,520,000円、20t/袋 @190円×220袋=41,800円、バラ堆肥 @2,700円×3立米（2ト車1台=3,000t）×1,000台=8,100,000円、フレコン堆肥 @2,700円×450本=1,215,000円、軽トラ堆肥 @2,200円×270台=594,000円） ④堆肥購入者	堆肥センター使用料 市内畜産農家11名が3,470トン相当の家畜排せつ物を搬入し、その処理費用にあたる堆肥センター使用料642,400円を減免した。これにより、コロナの影響で経営に苦しむ畜産農家の経営負担軽減が図られ、その事業継続に寄与したと考えられる。  堆肥散布作業手数料と堆肥販売収入 農家のほか市民660名に対し1,715トン相当の堆肥売払収入12,225,090円と、これに伴う堆肥散布手数料27,720円を減免した。これにより、農家が事業で使用する堆肥購入経費の軽減が図られ、その事業継続支援に寄与したと考えられる。また、農家以外の市民の堆肥利用が促進されたことで、市内での継続的な堆肥利用にも寄与したと考えられる。	本事業では農業経営に係る経費負担軽減への寄与が主な事業効果と考えているが、アフターコロナを見据えて農家の収入確保につながる取組が課題と考えられる。	10,504,054		10,504,054			堆肥センター使用料 642,400 堆肥散布作業手数料 27,720 堆肥売払収入 12,225,090 充当調整 △ 2,391,156	
37	公共的空間安全・安心確保事業	企画政策課ほか ※各施設担当課	①②新型コロナウイルス感染症防止対策として、公共施設及び第3セクター管理施設への検温モニター及び空気循環式清浄機を設置する ③検温モニター @220,000円×17台+@301,400円×1台=4,041,400円、空気清浄機 @104,500円×3台+@96,800円×4台=700,700円 ④施設利用者	各施設において、検温モニター及び空気循環式清浄機を設置することで、新型コロナウイルスの感染症対策を促進。 大規模な集団感染は見受けられなかったため、来場者及び職員に対して、一定の感染防止効果があったと考える。	全ての来場者の発熱等の体調不良を把握できるかが課題である。	4,742,100		4,742,100			●検温モニター（18台） 田沢湖クニマス未来館 220,000 思い出の湯分校 220,000 西木温泉クリオン 220,000 にしき園 220,000 健康管理センター 220,000 西明寺診療所 220,000 桧木内診療所 220,000 田沢湖歯科診療所 220,000 東風の湯 220,000 アロマ田沢湖 220,000 花葉館 220,000 アルバこまくさ 220,000 西宮家 220,000 角館樺細工伝承館 220,000 学習資料館 220,000 小野崎家 220,000 平福記念美術館 220,000 市民会館 301,400 ●空気清浄器（7台） 田沢湖クニマス未来館（3台） 313,500 角館樺細工伝承館（4台） 387,200	

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 実施状況の公表について

(単位：円)

No.	事業名称	担当課	事業概要（実施計画時） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	実績と成果	問題と課題	総事業費					経費内訳	
						国庫補助額	交付対象経費	起債予定額	その他	補助対象外経費		
38	学校保健特別対策事業費補助金	教育総務課	(感染症対策のためのマスク等購入支援事業) ①②市内小中学校において新型コロナウイルスの感染リスクを最小限にしながら十分な教育活動を継続するため、学校における感染症対策を徹底しながら児童生徒の学びの保障をする体制の整備を促進する。 ③小中学校 11校分=11,272,812円 (1校あたりの上限額は1,000,000円、角館小学校のみ児童数が多いため1,500,000円) ④市内小中学校	各学校において、体温計や感染症対策掲示物作成のためのラミネータ、パーテーション等備品、除菌アルコール等日常的に必要な消耗品を購入し、新型コロナウイルスの感染症対策を促進した。	・児童生徒の感染症対策のため、非接触体温計やパーテーション等を購入したが、まだ行き届いていない教室もあり、さらに備品を追加し対策を強化したい。 ・除菌アルコールやウェットタオル等消耗品は日常的に多く消費されるため、次年度以降も継続して購入する必要がある。	11,272,812	5,636,000	5,636,812				小学校消耗品購入(6校分) 3,023,339 小学校備品購入(6校分) 3,281,960 中学校消耗品購入(5校分) 2,742,493 中学校備品購入(5校分) 2,204,620 中学校切手購入(1校分) 20,400 事業費の1/2に国庫補助金 5,636,000円(千円未満切り捨て)
40	G I G A スクール構想推進事業	教育総務課	①②新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休校が児童生徒の学ぶ機会を阻害しないよう、切れ目ない学習環境を提供するためG I G A スクール構想事業と連携し、生徒用タブレット端末の1人1台整備及び機器を活用した授業の可能性について検証する。また、導入時のサポート支援を行い環境整備を図る。 ③ネットワーク整備委託・実証実験委託(小学校自宅学習環境 I C T 整備業務、学校通信線先行導入業務) 33,700,000円、機器導入経費 49,325,400円(3人に1台分：地方単独事業分 @59,400円×587台=34,867,800円、3人に2台分：国費事業について国からの補助 45,180,000円への上乗せ分@14,400円×1,004台=14,457,600円)、保護フィルム、タッチペン購入費 @1,580円×1,591セット=2,513,780円、保管庫鍵購入費 @970円×122個=118,340円、初期導入対応支援・マニュアル作成等経費 3,355,000円(国補助1/2を除く) ④市内小中学校	・GIGAスクール構想事業と連動し、新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぎつつ切れ目ない学習環境を提供するため、オンライン授業等を実施する。児童生徒用GIGA端末(クロームブック)を導入し、端末を活用した授業を開始した。グループの授業支援システムを用いて、出欠確認、課題提示、回答集計、オンライン授業等の活用を開始した。 端末購入台数：1591台(児童生徒全員へ配布)	・今年度の研修により、教職員がGIGA端末及びシステムの基礎的な知識を得ることができたが、毎年の人事異動により市外から赴任してくる教職員にも研修を実施する必要がある。 ・システムの研修だけでなく、その活用方法についての教職員からの質問に回答できるような体制が必要。	88,930,289		88,930,289				①ネットワーク整備委託・実証実験委託 ネットワーク整備業務委託 31,521,600 小学校自宅学習環境 I C T 整備業務委託 1,977,800 田沢湖地区学校通信線先行導入業務委託 121,000 ②機器導入経費 51,954,889 ③初期導入支援業務 3,355,000
42	予防事業(インフルエンザ予防接種)	保健課	①②季節性インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の同時流行に備え、医療機関の負担軽減及び混乱回避を図るため、季節性インフルエンザ予防接種に助成する。 ③予防接種委託料【若年者等：6ヶ月～18歳、妊婦】一部助成@500円×2,500人=1,250,000円、【高齢者】一部助成@1,000円×6,400人=6,400,000円、【19歳～64歳】全額助成(生保・市民税非課税世帯) @3,750円×30人=112,500円、一部助成@2,000円×4,900人=9,800,000円 ④医療機関	助成の拡充、また、助成拡充の趣旨を周知することで感染症対策が普及し、季節性インフルエンザの流行が抑制された。 接種件数 13,954件 接種率54.7%	インフルエンザワクチン接種希望者が増加し、一時、ワクチンの供給が不足した。	17,493,440		17,493,440				予防接種委託料 定期高齢者 6,386,000 6ヶ月から18歳 1,216,000 妊婦 13,000 19歳から64歳 9,878,440
43	テナント事業者等支給付金	商工課	①②新型コロナウイルス感染症の影響により、売上の減少に直面している事業者の事業継続を支援するため、家賃の負担軽減を図るための支援金給付 ③1事業者200,000円(上限)×34事業者=6,800,000円 ④市内事業者(農林業・3セク事業者を除く)	上限額200千円×50事業所=10,000千円を見込み。実績値6,635千円となった(見込額に対する割合66%)。	添付書類多数により、申請書類の体裁が整うまで時間を要した。	6,635,000		6,635,000				補助金(51件) 6,635,000
44	中小企業振興資金貸付金利子補給	商工課	①②新型コロナウイルス感染症の影響により売上げが減少し、資金繰りに苦慮している市内中小企業者を対象とした資金融資(マルセ、マルセ小口、マルセ創業)への利子補給 ③利子補給率年1.3%、利子補給期間36ヶ月(マルセ2件=91,044円(上期)、マルセ小口4件=38,306円(上期)、マルセ創業マルセ1件=1,687円(上期)) ④秋田銀行等(市内企業へ融資した金融機関)	中小企業振興資金 4,605,750円 136件 小口零細企業振興資金 1,181,831円 109件 創業支援資金 169,908円 16件 計 5,957,489円 261件(うち新規貸付14件) (見込額に対する割合79%) 新型コロナウイルス感染症の影響で、コロナ特別融資制度が新設されたが、対象者別の融資制度内容で棲み分けすることができ、コロナ融資の対象とならなかった事業者等、取りこぼすことなく市内事業者を支援できた。	繰り上げ償還や利子補給終了の際などに利子補給の計算ミスが発生しやすく、確認作業に時間を要する。	131,037		131,037				利子補給金 【創業】秋田銀行 田沢湖支店 1,687 【小口】北都銀行 角館支店 8,505 【小口】羽後信金 角館支店 29,801 【中小】北都銀行 田沢湖支店 4,511 【中小】羽後信金 角館支店 86,533



令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 実施状況の公表について

(単位：円)

No.	事業名称	担当課	事業概要（実施計画時） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	実績と成果	問題と課題	総事業費					経費内訳	
						国庫補助額	交付対象経費	起債予定額	その他	補助対象外経費		
46	経済対策資金貸付金 子補給	商工課	①②新型コロナウイルス感染症の影響により売り上げが減少し、資金繰りに苦慮している市内中小企業者を対象とした資金融資（マルセコロナ）への利子補給 ③利子補給率は融資利率の1.0%を超える部分、利子補給期間10年間：据置期間2年以内（セーフティネット保証4号または危機関連保証該当者：0.55%補給 63件=1,230,557円（上期 30件=355,370円、下期 33件=875,187円） ④秋田銀行等（市内企業へ融資した金融機関）	補給額 1,230,557円 件数 63件（うち新規貸付分35件） （見込額に対する割合48%） 様々な融資制度が新設される中で、他の融資制度とは別枠で借入が可能であり、またコロナ特別融資として10年間の利子補給を行うことで、新型コロナウイルス感染症の影響で疲弊する市内企業の金利負担の軽減に寄与できた。	国や県でより有利な融資制度が新設・また要件緩和等されたことで見込額に対し実績額が半数以下となった。	1,230,557		1,230,557				利子補給金 秋田銀行 角館支店 169,570 秋田銀行 田沢湖支店 143,414 北都銀行 角館支店 494,765 北都銀行 田沢湖支店 402,769 羽後信金 角館支店 20,039
48	秋田県経営安定資金貸付金 子補給	商工課	①②秋田県経営安定資金のうち新型コロナウイルス感染症対策枠および危機管理枠の資金融資を受けた市内中小企業者への利子補給 ③利子補給率は融資利率の1.0%を超える部分、利子補給期間10年間：据置期間2年以内（セーフティネット保証5号該当者：0.35%補給 27,807円×1件（上期）、セーフティネット保証4号該当者：0.15%補給 103件=1,147,727円（上期 48件=262,943円、下期 55件=884,784円） ④秋田銀行等（市内企業へ融資した金融機関）	新型コロナウイルス感染症対策枠 257,465円 12件 危機関連枠 918,069円 92件 計 1,175,534円 104件（うち新規貸付分61件） （見込額に対する割合31%） 県の支援策として実施されたコロナ融資制度に市の補助として利子補給を加えることで、さらに手厚い支援をすることができた。	コロナの影響がまだ出始めであり、1件あたりの融資額が見込よりも低かったことで、見込値に対する実績値が半数以下となった。	1,175,534		1,175,534				利子補給金 秋田銀行 角館支店 413,952 秋田銀行 田沢湖支店 132,579 北都銀行 角館支店 147,556 北都銀行 田沢湖支店 401,341 羽後信金 角館支店 80,106
50	指定管理施設支援事業	事務事業総合調整室	①新型コロナウイルス感染症拡大の影響により売上が減少している市内の指定管理施設で観光拠点となっている施設に対して、上限を定めて補助金を交付する。 ②令和元年度（H31.3～R2.2）と令和2年度（R2.3～R3.2）を比較した収入減少額に応じて補助金を交付。 減少額が100万円以上500万円未満：20万円、500万円以上1千万円未満：100万円、1千万円以上2千万円未満：200万円、2千万円以上5千万円未満：400万円、5千万円以上1億円未満：500万円、1億円以上：1千万円。 ③200,000円×3施設=600,000円、1,000,000円×1施設=1,000,000円、4,000,000円×2施設=8,000,000円、5,000,000円×1施設=5,000,000円、10,000,000円×1施設=10,000,000円 ④市内指定管理施設運営業者（8施設5事業者）	いずれも市の基幹産業である観光業において重要な観光拠点施設のうち、市内8施設の指定管理施設に対して事業継続のための支援を行い、経営維持につなげることができた。 《市民意識調査結果》 ①中小企業・小規模事業者等の事業継続支援 満足度 3.05 重要度 3.97 評価 A ②地域経済の活性化 満足度 3.40 重要度 3.82 評価 A ※いずれも「満足」「重要」の回答が「不満」「重要でない」割合を上回る結果となった。	依然としてコロナ禍前までの水準に回復していないため、どの事業者も資金繰りに苦しんでいる。いずれの施設も市内観光業への波及効果が高いため、事業者による経営改善及び支援策が必要となっている。	24,600,000		24,600,000				補助金 アロマ田沢湖（東風の湯） 200,000 アロマ田沢湖（アルパこまくさ） 1,000,000 アロマ田沢湖（ハートハーブ） 4,000,000 西宮家 4,000,000 花葉館 10,000,000 自然体験センター（キャンプ場） 200,000 自然体験センター（かたまえ山） 200,000 西木村総合公社（クリオン） 5,000,000
51	公共的空間安全・安心確保事業（総合行政情報システム）	総合情報センター	①②新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市役所庁舎内のビデオ会議システムを整備し、3密状態を回避する。 ③ビデオ会議システム（HDコム専用機器、周辺機器、ディスプレイ機器、保守パック、搬入及び設置作業等）購入費2,800,000円×1.1=3,080,000円 ④市役所庁舎（田沢湖・角館・西木）	頻度：週1回(以上) 部長等会議で毎週20人程度が1か所に集中していたものが、3庁舎に分散してビデオ会議システムを利用することで密を回避することができた。 またそれ以外の部署・庁舎を跨いだ打ち合わせでもビデオ会議システムを利用することで1か所に職員が集中するケースを分散することができた。	利用者がIoTに明るくないため、通信や機器トラブルがあった際は情報システム部門が対応するまで会議が止まってしまうことが発生する。	3,065,700		3,065,700				備品購入（ビデオ会議システム） 3,065,700
52	疾病予防対策事業費等補助金	保健課	（新型コロナウイルス感染症の流行下における一定の高齢者等への検査助成事業） ①②新型コロナウイルスの感染拡大や重症化を防止する観点から、重症化リスクの高い65歳以上の高齢者と、基礎疾患を有する検査希望者に対して、行政検査以外での病原体検査費用を助成する。 ③検査費用 @18,280円×7件=127,960円（LAMP法） ④65歳以上の市民及び基礎疾患を有する市民のうち病原体検査を希望する者	検査体制を整えたことにより、感染への不安解消につながった。 検査件数 6件 @18,280×6件=109,680円	週1回5枠と受け入れ枠が少ない。	201,080	54,840	54,840		91,400		助成金（@18,280円×6件×1/2） 54,840 国庫補助率：1/2 補助対象外検査数（感染不安等）：5件
53	仙北市冬のプレミアム観光支援事業	観光課	①②新型コロナウイルス感染症拡大の影響により落ち込んでいる観光消費喚起のため、仙北市内施設で買い物、飲食、宿泊に利用できるプレミアム観光券を発行する。 ③委託費 25,031,000円 （割引額 43,000枚×500円=21,500,000円、プロモーション経費 1,000,000円、観光券印刷費 150,000円、振込手数料 60,000円、運営管理費 2,000,000円、消費税 321,000円） ④秋田県民	（一社）田沢湖・角館観光協会への委託事業。事前申し込み制で令和3年1月27日から3月21日の換金・利用期間であった。事業スタート時点で首都圏などに緊急事態宣言の発令がされていたが、換金枚数も46,000枚に対し、実績で42,211枚となっており、比較的高い換金率であった。また、加盟店舗は多くあったものの、利用率として急事態宣言下であったものの、仙北市内の宿泊施設の活性化に寄与した。 ●換金枚数：42,211枚	同年度に実施した「仙北市プレミアム宿泊支援事業（宿泊券）」と同様の課題。申し込みの方法として、往復はがきを使用したため、申し込みから購入に至るまでのお客様の負担や、購入情報の集計等に係る受託業者の負担等が多く感じた。また、加盟店舗は多くあったものの、利用率としては市内の主なお土産処などに偏る傾向であった。	24,821,193		24,821,193				仙北市冬のプレミアム観光支援業務委託 プレミアム観光券 21,105,500 プロモーション経費 1,033,123 商品券印刷経費 174,240 振込手数料 66,330 運営管理費 2,442,000

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 実施状況の公表について

(単位：円)

No.	事業名称	担当課	事業概要（実施計画時） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	実績と成果	問題と課題	経費内訳					経費内訳	
						総事業費	国庫補助額	交付対象経費	起債予定額	その他		補助対象外経費
54	田沢湖畔春山地区トイレ洋式化による3密回避支援事業	観光課	①新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、観光客の密集しやすいトイレの洋式化により3密回避につなげる。 ②レストハウス（田沢湖畔）トイレ洋式化工事費への助成 ③レストハウストイレ洋式化工事費 2,000,000円 × 1/3 ≒ 666,000円 ④羽後交通興業	女子トイレの便器は10基中8基が和式便器で洋式便器は2基しかなかった。遊覧船の乗降場、また、路線バスのターミナルとなっており、民間施設ではあるが不特定多数の観光客が利用することから、洋式トイレ待ち等により混雑が発生し、3密を免れない状態であった。洋式化工事（和式8を洋式5に）により全ての便器が洋式になり、混雑が解消され3密回避による新型コロナウイルス感染症拡大防止につなげられた。また、飛沫拡散防止の観点からも一定の効果があつたと感じている。	トイレの洋式化により3密回避の面ではコロナ対策を講じられたが、手洗い蛇口の自動水栓化による非接触化などの課題が残っている。今後、課題解決に向けて事業者と相談をしていきたい。	666,000		666,000				補助金（2,000,000円×1/3） 補助対象事業費 2,000,000円 補助率：1/3、千円未満切り捨て 666,000
合計						729,986,990	5,690,840	723,150,000	0	0	1,146,150	